

設計支援委員会結果報告書

平成16年6月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	岡山市第三藤田コミュニティハウス設置に伴う改修工事
設計支援委員からの意見	具体化の結果・状況
<p>靴を上履きに履き替える場所(玄関付近)に、利用者が便利のように、手摺り・ベンチの設置はできないか。</p> <p>玄関の内側の扉は引き違い戸で、開口幅が80cmであり、車椅子が通るには狭いのではないか。</p> <p>壁手摺りが、一部(玄関付近)に設置されていない。</p> <p>多目的トイレにユニバーサルシート(大人用おむつ交換)を設置してはどうか。</p> <p>多目的トイレのトイレトペーパーの位置が低すぎないか。また、非常時の呼び出しボタンを設置するのか。</p>	<p>スペースが狭いため、手摺り・ベンチを設置しない。</p> <p>内側の扉は風除の役目をしているが、扉を取り外すなど、施設管理者(コミュニティ協議会)が使用にあたって工夫していく。</p> <p>ガラス張りの場所であるが、施工を工夫して設置する。</p> <p>設置しない。(写真有り)</p> <p>トイレトペーパーの高さを見直すこととした。また、非常呼び出しボタンを2か所に設置する計画である。(写真有り)</p>

設計支援委員からの意見	具体化の結果・状況
<p>多目的トイレの便器の位置は、いかがか。また、L型手摺りが壁から20cm位出ていれば、車椅子利用者にとっては体を寄りかかりやすいので検討してほしい。</p> <p>玄関ポーチの階段脇の手摺りを真ん中に設置したほうが動線的に良いのではないか。</p> <p>玄関ポーチの段差のふちに蛍光テープを貼って注意喚起をしてはどうか。</p> <p>多目的トイレ裏の既存扉撤去は必要か。</p>	<p>今年6月から岡山県の整備マニュアルが見直され、基本的には、両側スイング式の手摺りではなく、L型手摺り(壁付け)及びスイング式の手摺りを設置することが望ましいとされている。</p> <p>また、L型手摺りは壁から20cm位出すこととする。(写真有り)</p> <p>子どもなどの転倒防止の意味を考慮して、両端に手摺りを設置する。(写真有り)</p> <p>既製品の蛍光テープを貼るよう検討したい。</p> <p>防犯上、扉を撤去し、壁とする。</p>

呼び出しボタン
を付けました



ベビーベッドを設置しました。



L字型手摺は壁から20cm出してもたれかかれるようにしました。



スロープを設け、階段には手摺をつけました。